

新座市新型コロナウイルス等対策本部会議（第20回）

- 1 日時 令和2年11月17日（火）／午前11時15分～11時50分
- 2 場所 本庁舎4階庁議室
- 3 出席者 別紙1のとおり
- 4 概要

(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の進捗状況について（令和2年11月1日時点）

- ・ 事業は4割弱が完了しており、事業費全体では約10億円の執行額となっている。また、一部、事業の実施見送りや申請受付期間を延長するなど、当初の予定から変更が生じる事業がある。
- ・ 個々の事業によっては、当初予定していた事業費を大きく下回るものがあるため、全体の事業総額は2～3億円の減が見込まれるが、国の交付上限額（約13.2億円）を下回ることはないものと推測している。引き続き事業の進捗状況を注視していく。

(2) その他

○ 年末年始の感染拡大防止について【総務部】

- ・ 職員に対し、年末年始の休暇の前後にまとまった休暇の取得を推奨し、帰省等の外出の分散化を図るとともに、政府が提言する「感染リスクが高まる5つの場面」等を参考とした感染予防策の徹底を促進する。
- ・ これに伴い、年末年始の前後に行われる業務や事業を見直すこととしており、既に市長年頭挨拶を動画配信とすることや、年始（1月4日）の幹部連絡会議の開催を8日に変更することを予定している。
- ・ また、市民に対し市役所窓口における3密の回避のための、年末年始における分散来庁の周知を図る。
- ・ なお、再び感染拡大傾向にあるので、各所属でコロナ対策推進員を中心に引き続き感染予防対策に努めていただきたい。

○ 高齢者へのPCR検査助成事業について【いきいき健康部】

- ・ 来る12月議会に事業費の補正予算案を提出する。来年1月からの実施に向け、現在、委託先や検査の基準単価等の調整を進めている。
- ・ 関連して、現在、国からコロナワクチン接種が可能となり次第、速やかに実施できる体制整備の要請がきている。今後、プロジェクトチームの設置等の市の組織体制整備も必要と考えている。

出席者一覧

市長	並木 傑
副市長	山崎 糧平
教育長	金子 廣志
総合政策部長	永尾 郁夫
総務部長	伊藤 佳史
財政部長	遠山 泰久
市民生活部長	齋藤 寿美子
総合福祉部長	鈴木 義弘
こども未来部長	一ノ関 知子
いきいき健康部長	竹之下 力
都市整備部長	広瀬 達夫
上下水道部長	島崎 昭生
教育総務部長	渡辺 哲也
学校教育部長	小関 直
会計管理者	今村 哲也
市議会事務局長	細沼 伊左夫
選挙管理委員会事務局長	川島 聡
監査委員事務局長	山本 実